

日本珪藻学会第 39 回研究集会（東京）プログラム

期 日：2019 年 11 月 30 日（土）・12 月 1 日（日）

会 場：東京学芸大学（東京都小金井市貫井北町 4-1-1）

学会会長：出井雅彦

研究集会実行委員長：真山茂樹

共 催：東京学芸大学

第 1 日 11 月 30 日（土）

12：00 受付開始 C103 教室

企業展示 C103 教室

ポスター掲示 C203 教室

12：45 開会 学会会長挨拶・研究集会実行委員長挨拶

《口頭発表》中央講義棟 C204 教室

【座長 佐藤晋也】

12：50 O1 大気中の微粒子として浮遊する珪藻の特徴-大潟村における 2019 年 8 月～9 月の例-

○千葉 崇・木口 倫・井上 誠・永吉武志（秋県大・生物資源）・間所洋和（秋県大・システム）・西内李佳（千葉県博・生態環境）・辻 彰洋（科博・植物）

13:05 O2 日本周辺海域に分布する海産浮遊性珪藻の水塊指標性の再検討

○渡辺 剛・田所和明・宮本洋臣（水産機構・東北水研）・永井直樹（気象庁・海洋気象課）・黒田一紀（ヤムシ研究会）

13:20 O3 珪藻が海鳥を介して運ばれる可能性

○吉岡夢生・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・藻類）・綿貫 豊（北大・資源生態）

【座長 大塚泰介】

13:35 O4 Observations on the type samples of fossil *Proboscia* species

○Yuki Uezato・Richard W. Jordan（山大・理）

13:50 O5 微化石自動鑑定システムを用いた *Eucampia antarctica* の殻形状の分類

○石野沙季・板木拓也（産総研・GSJ）

14:05 O6 種組成データ分析手法の学習用オンライン教材としての SimRiver の有効性と課題

加藤和弘（放送大学）

14:20 写真撮影

14:30 休憩

14:50 ◆高校生の研究発表

PH ザリガニ甲羅上に付着する珪藻の季節変化について

○中野和真・中捨克兜（海城中学高等学校生物部）

◆一般発表

P1 千葉県小湊産紅藻マギレソゾ上の付着珪藻相

○菅原一輝・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・藻類）

P2 珪藻遺骸群集から明らかにする北海道日高地域沿岸における相対的海水準とイベント層形成の関係

○中西 諒（東京大）・嵯峨山積（北海道総合地質研究センター）・横山祐典・宮入陽介・芦寿一郎（東京大）

P3 立命館大学びわこ・くさつキャンパスにある中間湿原の珪藻植生

○大塚泰介（琵琶湖博物館）・北野大輔（滋賀県大・環境科学）

P4 機械学習による種判別プログラムの開発と、幾何学的形態計測に基づく種判別法の比較

○樋口悠太・藤井道夫・真山茂樹（東学大）

P5 日本産クチビルマガイケイソウ属 *Seminavis* の形態と分類

○笹野 凧・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・院・藻類）・長田敬五（日歯大・新潟・生物）

P6 タコクラゲから出現した *Protokeelia* sp.

○寺尾和明・真山茂樹（東学大）

【座長 納谷友規】

P7 多摩川河口域干潟の砂泥堆積過程解明のための珪藻利用

○大本拓輝・西田尚央・真山茂樹（東学大）

P8 Fossil marine diatoms from Marmorito, NW Italy

Kazuki Hoshina (Yamagata University)・Francesca Lozar (Torino University)・

○Richard W. Jordan (Yamagata University)

P9 軟X線分光顕微鏡による珪藻被殻中の元素分布および化学状態分布の可視化
石原知子（理研）・大河内拓雄（JASRI/理研）・山口明啓（兵庫県立大/理研）・○大浦正樹（理研）

P10 *Melosira varians* の殻形態とその形成過程

○小山諒太郎・真山茂樹（東学大）

P11 神奈川県野島公園の管棲珪藻相とその群体構造

○牟田神東陽奈・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・院・藻類）・長田敬五（日歯大・新潟・生物）

P12 中新世後期の地中海における *Chaetoceros* 休眠胞子の観察

○杉本菜緒 (山形大・理工)・Richard W. Jordan (山形大・理)

P13 三重県の古琵琶湖層群上野層 (鮮新統) から産出した *Praestephanos* 属珪藻

○小島隆宏 (筑波大学・生命環境)・齋藤めぐみ (国立科学博物館・地学)

16:10 休憩

《珪藻研究討論会》中央講義棟 C204 教室 【座長 真山茂樹】

16:20~17:40 「ひとり悩まず, ひとり占めせず, 参加者みんなで考えよう！」

18:30~20:30 懇親会

武蔵小金井駅北口「北海道イタリアン ミアボッカ」

東京都小金井市本町 5-1-18 nonowa 武蔵小金井ムサコガーデン

TEL 050-3313-3007

第2日 12月1日 (日)

8:30 受付開始 C103 教室

企業展示 C103 教室

《口頭発表》中央講義棟 C303 教室 【座長 渡辺 剛】

9:10 O7 蘭牟田池から見出された2分類群について

田中宏之 (前橋珪藻研)

9:25 O8 秋田県の下部更新統田沢層から産出した *Lindavia costata*

○納谷友規・小松原 琢・細井 淳 (産総研・地質情報)

9:40 O9 壊機法珪藻試料の比重法による分画精製

○中嶋 信・恒矢重毅・楨野陽介 (東大・法医)・岡馬恵介 (国際医療大・法医)・田中佳代・岩瀬博太郎 (千葉大・法医)

9:55 O10 ねじれた群体を作る *Fragilaria crotonensis* に関する考察

○根来 健・大塚泰介 (滋賀県立琵琶湖博物館)・辻彰洋 (国立科学博物館)

10:10 最優秀発表賞表彰式

10:15 お知らせ

10:20 休憩

《公開シンポジウム》「珪藻—明日に架ける橋」中央講義棟 C303 教室

セッション 1

【座長 鈴木秀和】

10:40 《多様性》

珪藻の多様性

出井雅彦（文教大学教育学部生物）

11:10 <<エネルギー>>

海洋ケイ藻によるバイオ燃料/化成品用グリーンオイル生産技術

松本光史（電源開発株式会社）

11:40 <<環境>>

外来種ミズワタクチビルケイソウの出現の現状と環境 DNA による
早期検出の試み

洲澤 譲（河川生物研究所）

鵜木陽子（九州大学農学研究院）

12:10 休憩（C303・C204 教室にて飲食可）

ポスター撤収

セッション 2

【座長 伯耆晶子】

13:10 <<アート>>

顕微鏡の発展と珪藻アートの誕生

奥 修（マイクロワールドサービス）

13:40 <<教育>>

珪藻教材を用いた河川環境意識とグローバル意識の育成を図る授
業プログラム

里見研悟（沼田市立沼田小学校）

14:10 <<工業利用>>

珪藻土の工業利用について

角 博明・小谷涼音（昭和化学工業株式会社）

14:40 休憩

セッション 3

【座長 真山茂樹】

14:55 <<医療>>

Diatoms as a Bioderived Nanosilica Particle for Bone Repair

Applications（骨修復のための生物由来ナノシリカ粒子としての珪藻）

Matthew Julius（米国 St. Cloud State University）

15:25 <<バイオテクノロジー>>

スマートセルインダストリーで活用される細胞工場としての珪藻

田中 剛（東京農工大学工学研究院）

15:55 総合討論

16:20 閉会

協 賛： 昭和化学工業株式会社
日本コントロールシステム株式会社
サイエンス・アイ株式会社
(株)内田老鶴圃
(株)パレオ・ラボ
(株) エル・エム・エス

同時開催：「ケイソウ展」珪藻、知と美の小宇宙 part II

期間：11月28日（木）～12月5日（木） 毎日10時～18時

場所：東京学芸大学芸術スポーツ4号館 美術科ギャラリー「アクティホール」
及び中央講義棟 C102 教室（ワークショップ会場、土日のみ）

実行委員会：東京学芸大学デザイン工芸 古瀬研究室，鉄矢研究室，正木研究室
東京学芸大学自然科学 真山研究室

後援：小金井市教育委員会

協力：石丸 隆

奥 修（マイクロワールドサービス）

忍足和彦（有限会社グレンデル）

鈴木博之（ヘリオストーム）

田中 亨（カールツァイス株式会社）

日本ケイソウ土建材株式会社

有限会社 浜野顕微鏡

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

William A. Gorcica（米国 St. Cloud State University）

講義棟平面図



12月1日
口頭発表・
公開シンポジウム

C303

3階

11月30日
口頭発表
12月1日
昼休憩室

C204

C203

2階

11月30日
ポスター発表・
休憩室

受付・
企業展示

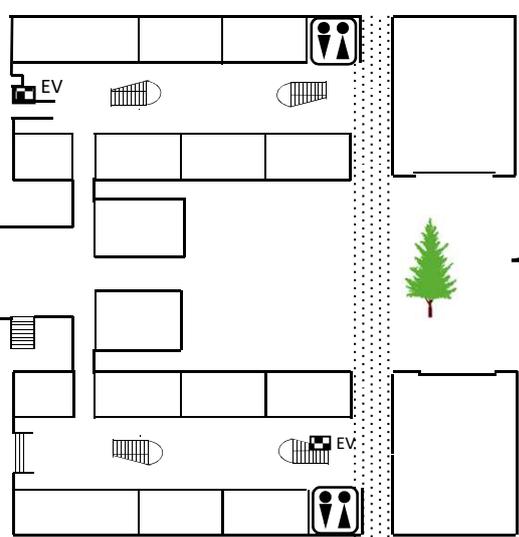
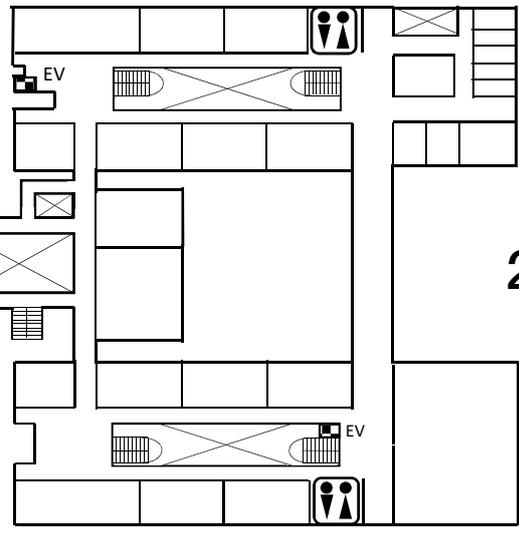
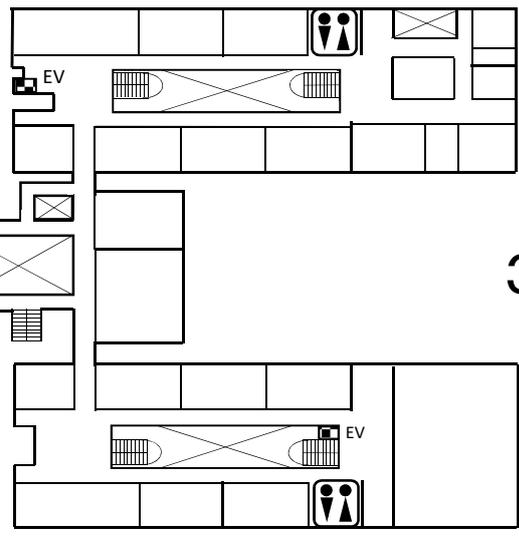
C103

C102

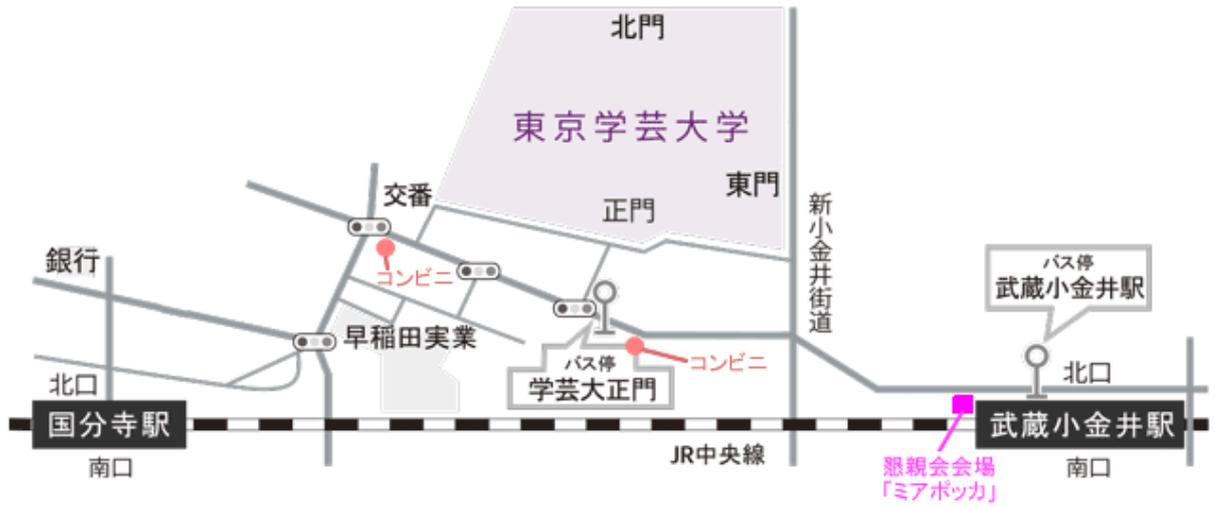
「ケイソウ展」
ワークショップ

1階

美術科ギャラリー
「ケイソウ展」本会場



▼最寄り駅から会場までのアクセス



▼東京学芸大学構内案内図

